安全工学シンポジウム2018 タイムテーブル

2018年7月4日 (水)

			2018年7月4日(水)		
	第1室 講堂(定員210名)	第2室 2階(定員100名)	第3室 6階6-C(定員52名)	第4室 6階6-A(1)(定員26名)	第5室 6階6-A(2)(定員26名)
0:00	開会挨拶(10:00-10:10)				
11:00	10:20-12:35 PD-1 リスクベース工学の最前線 日本高圧力技術協会 135 min, 7/4午後	10:20-12:00 OS-11⇒OS-1 教育研究機関の環境安全教育 日本化学会 100 min, 7/4のみ, 60名	10:20-12:40 GS-5⇒GS-1 建設に関する安全性と信頼性(1) 7件⇒6件	10:20-12:20 GS-1⇒GS-2 安全と人間性,社会特性(1) 6件	10:20-12:40 GS-7⇒GS-3 燃焼,火災,爆発に関する安全性(1) 7件
2:00			1		
3:00	· ·		昼休み(12:40-13:40)		
4:00	13:40-15:40 PD-3⇒PD-2 産官学の機械安全の取組と事例 日本機械学会	13:40-15:20 OS-7⇒ <mark>OS-2</mark> 組織と個人のリスクへの センス向上手法	13:40-15:20 OS-8⇒ <mark>OS-3</mark> 宇宙輸送における次世代推進システム 火薬学会	13:40-15:20 OS-9⇒OS-4 (仮) 電気設備分野の安全・安心技術 電気学会	13:40-15:15 OS-14⇒OS-5 高齢社会の火災安全と避難計画 ―小規模福祉施設を中心として―
5:00	120 min, 7/4午後	安全工学会 100 min,7/4午後,60名	100 min, 7/4午後, 50名	? Min,7/4午後?,?名	日本建築学会 85 min, 7/4午後, 30名
5:40					
•		•	2018年7月5日(木)		•
	第1室 講堂(定員210名)	第2室 2階(定員100名)	第3室 6階6-C(定員52名)	第4室 6階6-A(1)(定員26名)	第5室 6階6-A(2)(定員26名)
0:00	10:00-11:40	10:00-11:40	10:00-11:30	10:00-11:40	10:00-11:40

	第1室 講堂(定員210名)	第2室 2階(定員100名)	第3室 6階6-C(定員52名)	第4室 6階6-A(1)(定員26名)	第5室 6階6-A(2)(定員26名)		
10:00	10:00-11:40 OS-5⇒OS-6 エアバッグ安全とリコール 自動車技術会 100 min, <u>7/5午後</u> , 200名	10:00-11:40 OS-10⇒OS-7 土木工事の技術的安全性確保・向上 の検討 土木学会 100 min, 7/5午前, 50名	10:00-11:30 OS-12⇒OS-8 大規模物流倉庫の火災安全 日本火災学会 90 min, 7/4 or 7/5のみ, 40名	10:00-11:40 OS-3⇒OS-9 老朽・遺棄化学兵器廃棄の安全と 環境の保全に向けて 日本学術会議 100 min, 7/5午前, 20名	10:00-11:40 GS-11⇒GS-4 自然災害と安全 5件		
12:00							
13:00	12:30-13:30 特別講演						
14:00	13:40-15:40 PD-2 (連携) ⇒ <mark>PD-3 (連携)</mark> 安全教育と人材育成について 安全工学会	13:40-15:20 OS-1⇒OS-10 工学システムの社会安全目標の 実用化に向けて	13:40-15:40 OS-16⇒ <mark>OS-11</mark> Safety-2:成功事例を分析する 実践的取組み	13:40-15:40 GS-6⇒GS-5 建設に関する安全性と信頼性(2) 6件	13:40-15:40 GS-12⇒GS-6 事故, 災害に関する安全の概念 6件		
15:00	120 min	日本学術会議 120 min, 7/5午後のみ, 100名	日本人間工学会 120 min, 7/5午後 or 7/6午後, 50名				
15:40 -							
	懇親会(16:30-18:30)						

2018年7月6日(金)

	第1室 講堂(定員210名)	第2室 2階(定員100名)	第3室 6階6-C(定員52名)	第4室 6階6-A(1)(定員26名)	第5室 6階6-A(2)(定員26名)				
10:00 —			10:00-11:40 OS-6⇒OS-12 「災害発生時のリスクマネジメント」 火災, 地震, 津波…防災と減災, 避災 を考える 日本学術会議 100 min. 7/6午前、30名	10:00-11:40 GS-4⇒ <mark>GS-7</mark> システムの安全性と信頼性 5件	10:00-11:40 GS-8⇒GS-8 燃焼,火災,爆発に関する安全性(2) 5件				
12:00			昼休み(11:40-12:30)						
13:00	13:00-15:30 OS-2⇒PD-4 自動車の自動運転の研究開発の	12:40-14:20 OS-4→OS-13 事故情報と安全対策 ~事故防止のあり方を考える	12:30-14:00 OS-15⇒OS-14 若手技術者の安全・信頼性の 伝承について 日本信頼性学会	12:30-14:10 GS-2⇒ <mark>GS-9</mark> 安全と人間性,社会特性(2) 5件	12:30-14:10 GS-9⇒GS-10 燃焼,火災,爆発に関する安全性(3) 5件				
14:00 15:00	現状と課題 日本学術会議 150 min, 7/6午後	安全工学会 100 min,7/6午後,50名	90 min, 午後, 50名 14:10-15:40 OS-13⇒OS-15 機械安全の原点である安全確認型 システムから協働システムに	14:20-15:40 GS-3⇒GS-11 安全と人間性,社会特性(3)	14:20-15:40 GS-10⇒GS-12 燃焼, 火災, 爆発に関する安全性(4)				
15:40—			日本機械学会 90 min, 午後, 50名	4件	4件				